

低樹高一文字仕立て 台木栽培を省力化 ブドウ苗木 安定生産へ

福岡県農林業総合試験場

福岡県農林業総合試験場は、ブドウの苗木生産を安定化できる「低樹高一文字仕立て」による台木の省力栽培」技術を開発した。台木の新梢管理作業を腕より上げる「つらい姿勢」での作業時間を削減でき、樹冠面積あたりの採種数も増加する。また、苗木の育成時にマルチ被覆すると生育が促進され、成苗率が向上することを明らかにした。生産現場での苗木不足を解消することも、省力的で安定した苗木生産につなげたいと普及に努めている。

つらい姿勢での作業減 面積当たり採種数増加

ブドウの苗木は現在、ワリン用ブドウの面積拡大などを受け、全国的に不足の状況が続いている。苗木は一般的に耐性の台木に穂木を接いで生産する。ブドウ台木は樹勢が強いため、新梢管理では上を向いて腕を上げる不良姿勢の作業時が長く、身体的な負担が大きい。そのため、苗木生産者は台木の栽培を敬遠する傾向があり、苗木不足の要因の一つとなっている。低樹高一文字仕立てで必



真上に伸ばした新梢を高さ180cmで捻枝し、真下に誘引する。「省スペースで栽培できるのも利点」と話す四宮研究員

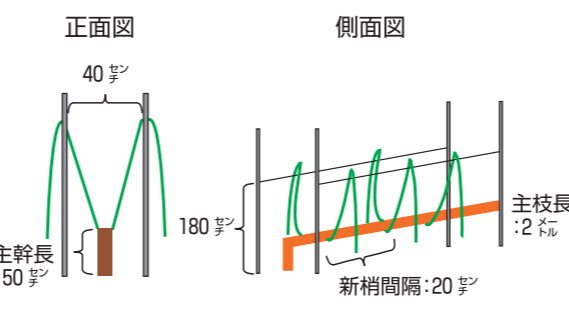


図 ブドウ台木の低樹高一文字仕立ての模式図

「低樹高一文字仕立て」は、従来の2列仕立てに比べて、新梢を横方向に広げる平棚仕立てと比較して、樹冠面積を小さくできる。試験圃は、1平方メートルあたりの採種数（直径6cm以上で長さ25cm程度の枝の数）は、品種「テキシ5B」の場合、72.5本で、平棚仕立てが3本の約10倍となった。マルチ被覆で成苗率向上

菜園ワンポイント講座

春まきダイコン

晩抽性品種で間引き菜も利用
春まきの冬野菜が抽苔し、4～6月は葉物類の産出期に近づく。晩抽性品種は、低温期から順次播種すれば、4～6月に収穫できる。春まきダイコンを作る際には、生育初期の間引きを兼ねて、カロテンやビタミンC、食物繊維が豊富な葉菜ダイコンとして利用できる。地域差はあるものの、春は多くの冬野菜が抽苔し、4～6月は葉物類の産出期に近づく。晩抽性品種は、低温期から順次播種すれば、4～6月に収穫できる。

〈トンネルマルチ栽培〉

マルチ幅95cm 2条穴
穴あきマルチ穴幅135cm 3条穴

播種期は2週間前に、完熟堆肥を10平方メートルあたり10kg、石灰または苦土石灰0.8～1kgを全面に撒き、深く耕す。播種後7日前までに10平方メートルあたり、チッ素成分で100g、リン酸成分で100gを撒き、表層を軽く覆土する。

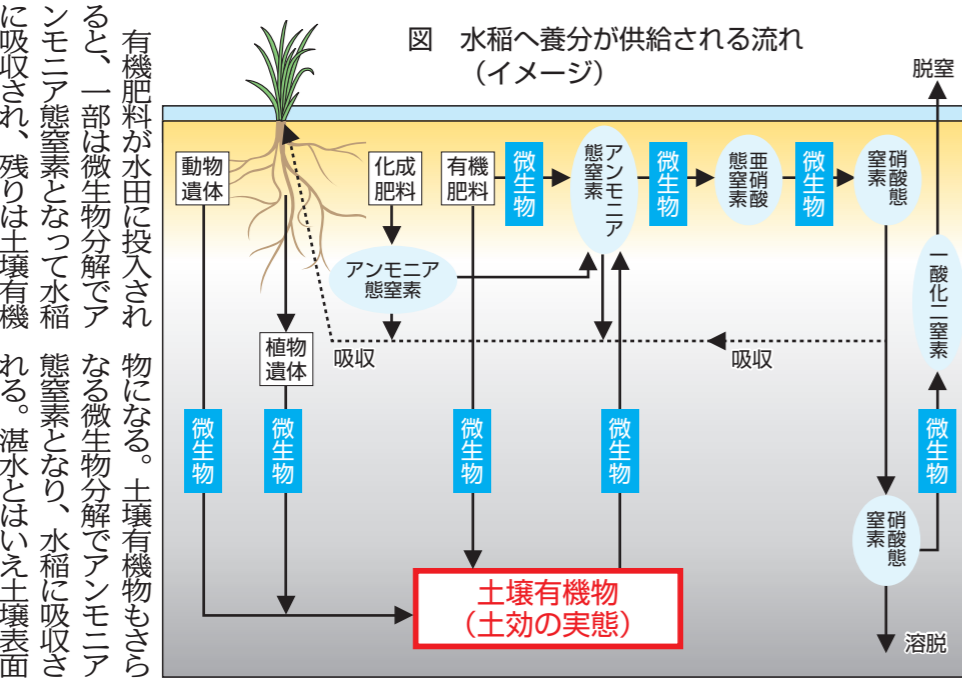
水稲の無施肥試験で知る 田んぼの土効

連載第3回は、自分の水田がもつ土効（筆者の造語で、土効の効果を自分で把握する必要性を解説した。今回は、その土効の実態について解説する。

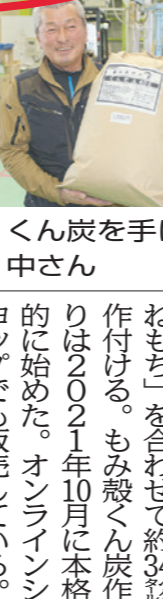
（土壌有機物）
土壌から水稲へ養分が供給される流れは非常に複雑だが、誤解を恐れずに単純化する。このように表現できる。水稲生産におけるチッ素の重要性を考慮すれば、チッ素の流れに焦点を当てても問題ないだろう。ついでに誤解を恐れずに述べると、土効の実態は、土壌有機物の原料は、ミネラル（土壌有機物の原料は、水稲に吸収される）と有機物（糞尿）とを合わせたものとして存在する。化成肥料の多くがアンモニア態窒素を含み、水田に投入されると速やかに水稲に吸収される。

4 土効の実態

チッ素の流れ 微生物が主役



（土壌有機物）
土壌から水稲へ養分が供給される流れは非常に複雑だが、誤解を恐れずに単純化する。このように表現できる。水稲生産におけるチッ素の重要性を考慮すれば、チッ素の流れに焦点を当てても問題ないだろう。ついでに誤解を恐れずに述べると、土効の実態は、土壌有機物の原料は、ミネラル（土壌有機物の原料は、水稲に吸収される）と有機物（糞尿）とを合わせたものとして存在する。化成肥料の多くがアンモニア態窒素を含み、水田に投入されると速やかに水稲に吸収される。



くん炭を手の中さん

最終回は、土効の制御技術について考えてみたい。（関係 信人 三重大学 物質資源学専攻教授）

植物の力を引き出す 成分微生物の効果

アミノ酸・ペプチド 低日照などの対策に

天然化合物（アミノ酸・ペプチド）（まとめ）

- 5-アミノリブリン酸
植物体内の代謝に関与
葉緑素の前駆体
細胞内に存在
低日照対策
ストレス耐性向上
転流促進
- グルタミン酸
活性酸素から細胞を保護
トリペプチド
細胞内に存在
ストレス耐性向上
発根
光合成促進
- アミノ酸液肥
低日照など代謝低下時のチッ素供給に効果
土壌施用時に微生物活性を上げる（微生物のエサ）
根の活性向上
根圏環境改善
ストレス耐性向上

植物の力を引き出す成分微生物の効果
肥料高騰や「みどり」の食料システム戦略」にある有機農業の推進を受け、化成肥料と有機肥料の違い、土壌中の有機態窒素の動態など、アミノ酸に関する質問を受ける機会が増えています。アミノ酸は、有機肥料のチッ素源・炭素源として、植物や微生物に利用されるほか、バイオステイミュラント（B）として植物体内での生命活動（代謝）やストレス耐性向上に深く関わるものが多く、古くから利用されてきました。

草刈機 劉馬王シリーズキャンペーン

購入者に記念品プレゼント

株式会社アテックス
「R098224AB」
「R09824FB」
「R098252AB」
「R098220A」
「R098220AB」
「R098220AB」
「R098220AB」
「R098220AB」
「R098220AB」
「R098220AB」
「R098220AB」
「R098220AB」

誘引結束機「テープナー」用「紙テープ」

マックス株式会社

新製品紹介

マックス株式会社は、支柱や番線に巻くための誘引結束機「テープナー」専用の「紙テープ」を開発しました。主な特徴は①環境に配慮した紙製で、土に埋めると約3カ月で分解する②保持力や耐水性を備え、雨や紫外線の影響を受けやすい露地栽培でも使用可能③厚さ0.13mmで幅は11mm、白色で1巻あたり34mなど。メーカー希望小売価格（1箱10巻入り、税込み）は1540円。